

令和5年度第4回国立大学法人埼玉大学経営協議会議事要録

日 時 令和6年1月25日（木）10:00～11:50

場 所 事務局第一会議室及びMicrosoft Teams 併用

出席者 [会議室] 坂井学長、黒川理事、柳澤理事、松田理事、中村理事、市川理事、
利根委員、平本委員、真下委員

[Teams] 砂川委員、萩原委員、山名委員

欠席者 佐々木委員、吉田委員

陪席者 [会議室] 山中監事、齋藤監事、川又副学長

[Teams] 田代副学長、川合副学長、伊藤副学長、

井口人文社会科学研究科長、井原経済学部長、堀田教育学部長、

石井理工学研究科長、長澤理学部長、重原工学部長

- 学長から、佐々木委員及び吉田委員が本会議を欠席する旨報告があった。
- 令和5年度第3回議事要録の確認について（資料1）
令和5年度第3回国立大学法人埼玉大学経営協議会議事要録（案）の確認が行われ、承認された。

※各事項における意見等は次のとおり（☆学外委員、△学内委員等）

- 審議事項
 - 1 令和6年度予算編成方針について
松田理事から、資料2に基づき、令和5年度予算編成方針について説明があり、審議の結果、承認された。
 - ☆ 予算編成に当たっては、本学と同規模の大学を参考としているのか。
 - △ いずれの国立大学も財政的に厳しく、人件費の削減に取り組んでいると聞いており、本学でも以前に教員定員の削減を行った。今後は人件費以外の支出の改善に取り組んでいきたいと考えている。
 - ☆ この予算編成方針案を読んでもみると一文が長く感じた。このままでは、教職員に理解してもらうのが困難なのではないか。
 - △ ご意見を踏まえ、今後改善していきたい。
 - 2 中期目標・中期計画の変更について
川又副学長から、資料3に基づき、仮称となっていた組織名称が確定したこと及び重要な財産を処分することによる、中期目標・中期計画の変更について説明があり、審議の結果、承認された。

○ 報告事項

1 統合報告書について

松田理事から、資料4に基づき、ステークホルダーに対し、教育研究活動や社会連携状況等の理解を深めていただくため作成した、統合報告書について説明があった。

☆ 対象を特定せずに統合報告書を冊子体で送付しても、読んでもらえないこともあると思われる。そのため、対象を絞るなど誰にどのように渡すかを丁寧に考えていかなければならない。

△ 対象とともに、冊子体にどの程度訴求力があるかは考えていかなければならないし、ホームページに掲載している電子媒体の閲覧数の経過を見ていきたい。

☆ 受験生及び保護者には、本学の詳細な情報を求めている方もいらっしゃる、丁寧に学内での取組みを伝えるためには、電子媒体のみならず冊子体を有効に活用すべきであると思う。

△ 統合報告書のほか、各学部でも案内を作成しており、詳細な情報が閲覧できるようにしている。求められる要望は様々なので、このように重層的に情報発信を行ってきたい。

☆ 昨年度より統合報告書のページ数が増えているが、読み手の立場を考えると、分量としては多くても現在の半分程度とすべきではないか。

△ 来年度の発行に向けて、内容の取捨選択をしていきたい。

(砂川委員が途中退席)

2 令和6年度予算の内示について

松田理事から、資料5に基づき、文部科学省における令和6年度国立大学関係予算案及び本学への令和6年度予算内示について報告があった。

3 令和5年度外部評価報告書について

川又副学長から、資料6に基づき、本学の自己点検評価結果の妥当性を検証するため、令和4年度の自己点検結果に係る外部評価を受け、その報告書の概要について説明があった。

○ その他

1 埼玉大学の最近の動向について

松田理事から、資料7に基づき、埼玉大学DXの取組状況について報告があった。

☆ DXを推進する際に、当面は従前の方法と併用するといった機関が散見される。特定の業務においては一気にDX化を行うといった、思い切った対応をしてほしい。

- △ 本学は職員数が少ないといった事情もあるので、業務効率化を徹底していきたい。
- ☆ 最近の動向に関連して、部活動・サークル活動に大学側がどのような形で関与しているかをお聞きしたい。
- △ 次回の経営協議会において、本学の部活動・サークル活動について報告したい。

2 次回日程（令和6年3月28日（木））

学長から、次回日程の開催時刻については、改めて各委員のご都合を伺いたい旨の連絡があった。

以上